

彩北通信

月刊 No. 132
2018年2月1日発行
発行元：彩北進学塾
発行責任者：蓮 克彦

〒366-0827 埼玉県深谷市栄町17-2

TEL 048-575-3291 E-mail: info@saihoku-juku.com

蓮塾長のブログ(彩北日記) ⇒ <http://ameblo.jp/saihoku-sj/>

入試や期末テストに向けて

中3生はいよいよ公立高校入試まで1か月を切ります。ここまで来たら慌てても仕方ありません。今やれることをやるのみ。いろいろな問題集を今から手あたり次第やるのではなく、今までやったものを確認し、最終チェックへと入っていく段階です。まだまだ伸ばせますので、気を抜かずに緊張感をもって学習しましょう。中1・2年生は期末テストですね。3学期の学年末テストは範囲も広いですし、何よりも内申に大きく影響しますので、早めに準備し、ワークなどは終わらせてしまいましょう。小学生は学年のまとめ。苦手を苦手なまま進級しないようにしましょう。

◎名言・一言

瞬間、瞬間を完全燃焼すること。

その点の連続が未来につながる。

稲盛和夫(京セラ創業者)

☆貴方に送る今月のおすすめ☆ 今月のおすすめは、**文庫本** です

『さがしもの』(角田 光代) 新潮文庫

「その本を見つけてくれなけりゃ、死ぬに死ねないよ」、病床のおばあちゃんに頼まれた一冊を求め奔走した少女の日を描く「さがしもの」。初めて売った古本と思わぬ再会を果たす「旅する本」。持ち主不明の詩集に挟まれた別れの言葉「手紙」など九つの本の物語。無限に広がる書物の宇宙で偶然出会ったことばの魔法はあなたの人生も動かし始める。

▼お知らせ▼

- ・小学校6年生のグループ指導は、2月より「新中1準備講座」となります。
- ・全学年全生徒の保護者面談を実施いたします。ご協力のほど、お願いします。
- ・3月5日より新年度開始となります。
- ・中3生は2月26日が最終授業となります。

■最近のニュースから■

2018.1.18 産経ニュース

これまで経験のある習い事は水泳が70・4%と最も多く、英語・英会話、ピアノと続く。子供向け職業体験プログラムの企画などを手掛ける一般社団法人「夢らくぞプロジェクト」(東京)が、未就学児から小学生の子供がいる保護者にインターネットを通じた調査をすると、こんな結果となった。

調査は1月、同プロジェクトのメール配信登録者約3500人に実施し、30代以上の保護者計136人が回答した。他にダンスやパソコン関連などもあり、習い事が多様化している実態が明らかとなった。

習い事の時間帯は「平日の夕方」が94・1%とトップで、「土曜日の日中」が43・0%。月額費用は「1万円以上～2万円未満」が29・6%、「3万円以上」が28・1%だった。

今回の調査では、子供が習い事を「している」との回答が94・9%に上った。

▽勉強方法ワンポイントアドバイス▽

真似て慣れる

数学は真似る・慣れることが重要です。ですので、例題を理解しながら解くことから始めて例題が理解できたら類題を解くわけです。たくさん問題を解いてください。この例題を理解し、問題を解くことの繰り返しが数学の成績の上げ方です。

問題を見た瞬間に解き方が分かるようになったら完璧です。数学は、1度も解いたことが無かったらほぼ解けません。

♪合格祈願お菓子特集♪

- ・「キットカット」(きっと勝つと)
- ・「ウカール」(受験にうかール)
- ・「Toppa」(受験に突破)
- ・「キシリトールガム」(きっちり通る)
- ・「ポッキー」(逆から読むと吉報)
- ・「合格かっぱえびせん」
- ・「カナエルコーン」
- ・「勝ちグミチョコ」
- ・「コアラのマーチ」(木から落ちない)
- ・「ダルマサイダー」